

第6回 神田警察通り周辺まちづくり検討部会 議事要旨

■日 時：令和5年9月7日（木）14：30～16：30

■会 場：千代田区役所8階第1・2委員会室

■出席者：

〔委員〕

●●部会長、●●委員、●●委員、●●委員

●●委員、●●委員、●●委員、●●委員、●●委員

●●委員、●●委員、●●委員、●●委員

加島委員（まちづくり担当部長）、前田委員（景観・都市計画課長）

須貝委員（基盤整備計画担当課長）、

大木委員（神田地域まちづくり担当課長）

〔オブザーバー〕

齋藤委員（神田公園出張所長）

〔事務局〕

地域まちづくり課・UR都市機構

欠席者：●●委員、●●委員、神原委員（道路公園課長）

1. 開会

○事務局より資料確認

2. これまでの振り返り

○事務局より説明

3. まちづくりの検討について

○事務局より説明

<意見交換>

【委員】

・パブリックコメントについて、樹木の保存にどのような意見が多く出たか。

【事務局】

・今ある樹木を残してほしいという意見が多くあった。

【部会長】

・ここまでの感想でもよいので、各委員からご発言いただきたい。

【委員】

- ・（部会が）始まったのは5年前で、沿道整備協議会が10年前。その間に、再開発がテラススクエア・トラッドスクエア・神田スクエアとあった。テラススクエアができたときには箱ものはいかなものかと思っていた。だが、週に1回は通っており、樹木が生い茂ってきて公開空地の緑化が進んでいるなという感想を持っている。神田スクエアも、4面それぞれに工夫があり、1階も座れるところがいろいろあり使い勝手がよい。何よりも歩道との連携がよい。神田警察通りの美土代町の歩道は1.5メートルほどしかないが、計画を見ると今後は約2メートルになる。再開発を見ていると、歩道に対する配慮で空地内の緑も並木道みたいに、良い空間がある。一橋中学校の前の歩道は狭くて樹木はないが、小学館には樹木があって歩道を補完するようないい緑化計画になると感じる。歩道というのは安全第一で、最適な樹木を植え替えてもらいたい、再開発や総合設計は、歩道に配慮したより良い緑空間ができればと感じる。

【委員】

- ・まちづくり方針図について確認したい。まちづくり方針図上の記載にある取組みの変更点について、指摘という表現があったが、解釈としては、今はそういう計画はないが、今後、地域での話し合いにおいてまちづくりに必要な方針が出たら図に加味していくということによいか。

【事務局】

- ・おっしゃるとおりで、この部会で了承いただければ一旦まとめたいと思うが、今後個別のまちづくりが深度化し、まちづくり方針に記載すべき内容が生じた場合は、当然どう変えていくか考えている。

【委員】

- ・方針図の中で、司町一丁目の交差点を拠点にするかしないかの話があったが、これも今後のエリアの話し合いの中で広げていくと理解した。神田駅周辺については、多町2丁目や司町2丁目にマンションが次々と建設されており、住宅としての一つの拠点になっていくのかと考えられるが、今後は入れていく可能性があるという解釈でよいか。

【事務局】

- ・おっしゃるとおり。まちづくり方針は、神田警察通り沿道を背骨としてどう連携してまちづくりを進めていくかを確認する大きな計画となっている。例えば駅前や錦町のような個別のまちづくりを進める際は、ガイドラインのようなものをこの計画下に定めることも考えている。その際は、地元の人たちにご意見を伺う機会を作って定めていく。方針を変える必要があれば、そこにも反映させていく形で考えている。

【部会長】

- ・改めて確認するが、今回の方針の 20 ページ最後に連携型まちづくりを実現する体制イメージ、まさにそこに関わってくる。個別の事業を検討していく際に、連携型まちづくりの体制をどのように機能させていくか、まだ体制があるわけではないので、今後作るというところまでを定めるのが方針だと理解しているが、区としてどうイメージしているか補足説明いただきたい。

【事務局】

- ・パブコメの中で検討体制について様々な人の意見を聞くべきとご意見があり、どういった形でまちづくりについて意見を聞くのが最適なのか、例えば学識やまちづくり経験者に意見を伺いたい。どういうものがふさわしいか、取りまとめた段階で協議会に報告し、体制を検討したい。

【委員】

- ・先ほど再開発や総合設計の話をしたが、全部褒めているわけではなく、だめな開発も多い。まちづくり方針の 19 ページに、神田らしさを継承するまちづくりとあるが、神田らしさは非常に漠然としていてわかりにくい。私は一橋中学校に通っていたため、神田警察通りが通学路だった。朝、何人かわからないくらい挨拶のポイントがあった。やはり神田らしさとは顔の見える町だと思う。再開発はいい再開発してもらえればいい。だが、小規模ビルの個別建替えとか、神田らしさはもう少し小さいビルのことを言う。内神田一丁目では駐車場附置義務緩和されたが非常にいい取り組みだ。今の条例を当てはめると、1 階に駐車場を増やさなくてはいけなくなる。そうすると店舗が持てなくなり、商売をやめなければいけないかもしれない。毎朝挨拶できるという状況がなくなってくる。
- ・マンションにアドバンテージがついて、神田警察通りなどの表通りにマンションを建てると 1 階に何もなくなる。駐車場と駐輪場になって、足元に何もなくなり、神田らしさが失われる。もっと細かい条例など手を入れないといけない。大規模ならスーパーじゃないといけないとか。顔の見える神田、地面に足のついた神田、挨拶のある神田が神田らしさだと思っている。

【事務局】

- ・今後開発を進めていく中で、地元の方の思いをどう具現化していくのかということの基本を検討していく。例えば、地域のルールで地区計画を使って界限性を残すなど、具体になっていく中で手法を検討できるかと思う。駐車場の問題についても、区としては地域から声を上げていただきたい。1 階に駐車場を作ると神田らしさがなくなってしまうということであれば対応も考えられる。先ほどのガイドラインを作る際に、地元の方からご意見いただける体制を作って積極的に検討していきたい。

【部会長】

- ・神田は様々なスケールの地域があり、町会単位も細やかで、課題はそれぞれ個別にあると認識している。開発を進めていきたい街区もあれば、個別更新や愛着のある建物や環境・空間を維持していきたい地域もある。その中で、細やかに対応していくかが求められている。今回の方針は、大きく全体の押さえるべきところを押さえた。連携型まちづくりという言い方で、大きく空間を機能更新するところとそうでないところが混在・共存する神田でそれぞれがどう、統合してバランスをとれるかが課題になっている。内神田一丁目は駐車場附置義務緩和を行ったが、内神田一丁目ですでた実績を内神田二丁目や多町に展開していくのかなども積み上げだと思う。横の地域でやっているまちづくりのいいところを隣接地区でもつなげていくために、意見集約の仕方を変更してやっていく、それに向けた具体化を進める場が一つ作れているのが、今回の方針の成果。具体的にできるようにするには、地元の声を上げていただくことが大事で、そのための受け皿づくりというのもこの方針だと思う。次の段階では受け皿を作っていけることを期待している。

【委員】

- ・分野別に丁寧意見を吸い上げて方針にとりまとめていただいた。例えば写真に場所の情報が入るだけでも神田でできそうだなと思え、よくなった。
- ・部会に参加し、神田らしさを歴史から紐解き、時代の変化も取り入れたいという町会の方々からの思いも感じられた。まちづくり方針の８ページの地域に関わる方々の現状認識でも、町会長を通じて住民の方の生の声を吸い上げて、次のステップに繋がると感じる。連携型まちづくりとして、各ステークホルダーの連携や場所の連携、新旧住民との連携など色々あるが、意識して進めていただきたい。

【事務局】

- ・体制の検討を進めてまいりたい。

【委員】

- ・神田警察通りの課題もあるが、警察通りだけで済ませてはいけない。例えば交通の問題など大分議論があった。神田警察通り周辺まちづくりという外側まで含めた一体化の考え方はこれから必要で、沿道地域全ての施策を関連付けていくことが大事。その辺もきちんと説明いただけると理解が深まる。

【事務局】

- ・神田はスポットだけの開発でまちづくりを考えられない。開発のつながりが大事になってくる。総合的に、面的に検討することは大事なことで、今後、個別の開発をする際も周りとの連携も考える必要がある。

【委員】

- ・まちづくり方針は本日まとめてもらいたい、我々は開発をただ誘導してい

るわけではなく、開発も時間がかかると思う。8 ページのコミュニティや 12 ページの多様な活動・交流のところは、今後の開発を待たなくてもできることだと思う。既に、神田警察通りに大きい広場が 2 つあるが、それらの連携を積極的にやっていていただきたい。去年の「なんだかんだ」など、そうしたものを積極的にやることで、まちづくりを少しずつでも進めていけばありがたい。そうした中で、今後もし開発をするならどういったものにしてほしいといったことに繋がっていく。

【委員】

- ・議論が始まり 4 年経っている。現状認識もそのときに話題になっていたことが書かれている。時間が変われば、抱えている問題も変わっていく。幅広い意見を一旦とりまとめたと理解している。少なくとも、たった今問題になっていることは残念ながら反映されていない。あくまでも令和元年の問題意識が書かれている。幸い、先ほどの計画は作って終わりではなく、今後連携型という話の中でブレイクダウンされていく。今は、集約して若干相対化・一般化してまとめられ、地区によって現状認識もおそらく微妙に違う。各町会長も自分の町会の話の念頭に置いて発言しているので、そのあたりを掘り起こして今後の話に繋げてもらおうとよいと思う。まちづくり方針のもう一つの特徴は将来像を結局書かなかったこと。最初に議論にもなったが、たいいての行政計画は将来像を打ち出すが、神田エリアは広く、継続的に考えていくことになり、答えが完全に出たわけではないので今日的な意味での神田らしさを形にしていくことも、連携型まちづくりに宿題としてのしかかっている。計画が絵に描いた餅で終わらないための仕掛けが大事になってくる。先ほど駐車場ルールの話が出たが、公園等も含めてローカルルールという形で地域ごとの事情を反映し、住民が参加することで自らルールを作っていくのが住民自治の基本。神田ルールというのを、連携型まちづくりの次の目標として設定していただけるとよい。

【事務局】

- ・神田らしさの具現化は難しく、一つ一つ新しい神田らしさを作っていくのが方法と思う。幅広く検討できればと考えている。

【委員】

- ・神田警察通りの会議が始まったのは、歩道を含めての話であったのに、開発という大きなものになると。意見はない。

【部会長】

- ・経緯としては、神田警察通りの沿道整備をどうしていくかということと併せて、これまでガイドラインを作ってきた中で、道路だけの話ではなく、沿道の敷地も関わってくるため、まちづくりをどう一体的に考えていくかがこの

検討部会の出発点だった。その中で、まちづくりを複合的に様々な観点から考えていくため、部会の中での情報共有の仕方も、東西に分けてまちの課題を議論するなどした。まちづくりは総合的・複合的で、情報発信をしていくことは難しいということを改めて問題提起していただいたと認識している。

【委員】

- ・ 神田警察通りを4車線にするときに、町会長3名が真っ向から反対した。だが、当時は意見を聞き入れてもらえず今の状態になり、その後3車線にする話になって非常にありがたい。歩道をいかに広くするかを重点に始まったが、まちづくりを含めて道路のあり方を検討するとなると、意見がない。

【委員】

- ・ これはまちづくりの基本方針であり、道路整備の話はほとんど入っていない。神田警察通りの賑わいガイドラインの中でもまちづくりのことが書かれている。沿道で開発が出てきたとき、道路整備だけでなく沿道のまちづくりも検討すべきというところが今回。また、協議会が今後開かれるので、道路整備に関してはそちらで調整される。

【部会長】

- ・ 個々の事業については、様々なところで議論が進んできている。まちづくり全体の方針としてまとめることができ、ここからさらに個別の事業について話をしていくと理解している。

【委員】

- ・ 現在、工事が進んでいない。町会の会合で聞かれても答える術がない。なぜこんなにかかるのか納得できない。周辺の開発云々については意見がない。

【委員】

- ・ 委員の気持ちはよくわかる。10年以上前に会に出たときに委員が仰っていたのは、町会で車椅子を利用するお年寄りが10名以上いるから歩道を通りやすくすることを早く実現してほしいと、まっとうな意見だと思う。その町会の車椅子の方も1、2名になってしまった。お年寄りも少なくなり、人口も減っていくから、反対する方は人よりもイチョウの木の命の方が大事なのかなと思う。

【委員】

- ・ この問題が出始めたときには、2町会の会長と、あと20人何名の車椅子の方がいたが、町会長含めてみんな亡くなった。非常に残念。なぜこんなに時間がたって進まないのか、明確に説明してもらいたい。反対意見もあると思うが、車椅子の方々がどれだけ大変な生活をしているか考えてほしい。

【加島委員】

- ・ 申し訳ないが、道路整備の議論はご意見として賜る。次回、協議会を開催し

た際に議論させていただきたい。

【委員】

- ・多くの方々によって、まちづくりの基本構想ができた。非常にわかりやすい大局的なものをまず作り、今後個々の地域に還元し、変更も含めて柔らかい頭で考えているということがわかった。駐車場附置義務は地域にもよるが、今の時代に不適合だと思う。うちの方もマンションだらけになってしまい駐車場の入り口でまちが連続せず、神田らしくなくなっている。つなぐまち神田はすごくいいフレーズ。生まれてから住んで、また次の世代につなげて、まちがつながっていくことが神田らしさだと思う。まちも考え方や状況によって変化しながら神田という名前を残しているというイメージがある。

【委員】

- ・神田駅側から道路整備をすると聞いたが、おかしいのではないかな。開発より道路が気になる。20年くらい経っている。スムーズに進めていただきたい。

【委員】

- ・よくまとまっている。将来的に今の町会のスタイルがいつまで続くのか。まだどこの町会も頑張っているが、そのうち町会機能がシュリンクし、既存住民の意見がどれだけ反映されるのか。なくなったときに、適正な都市部の開発なのかというギャップが10年、20年後に出てくる。どの辺を着地点にして全体の開発をスケジューリングしていくのか早く考えないといけない。

【事務局】

- ・神田地域は町会にまちづくりやコミュニティ形成に協力いただいている。新住民の方が町会に参加しないことも聞いている。コミュニティをどう維持していくかは、エリアマネジメントをどう生かしていくかということ。既存の町会活動は尊重されるべきだが、例えば人手やお金などについて、エリマネでのサポートや、地域コミュニティの維持についても検討してまいりたい。

【部会長】

- ・今後の神田地域のまちづくりをどのようなメンバーで意見集約し、個々の事業を決めて活動していくのか、どう地域を支えるのか、地域がどう支えるのか、地域の担い手をどう支えるのかというのは非常に重要。

【委員】

- ・共立講堂と一橋講堂に挟まれたところで数年前に道路の開発の話があったが、共立大に一任したら、いい散歩道になっている。ほかが揉めているのが不思議。人が集まるのが賑わいだと思う。人を集めるために、店がいる。うちの町会にはさくら通りがあるが、昔は小さなお店がいっぱいあったがビルに統合されて少なくなった。条例で駐車場だらけになっている。町会としては、駐車場をなくすようお願いしている。小学館が建設中のビルについて

は、駐車場をなくしてお店にしてほしいと町会からお願いしている。動いてみれば何かしら手立てはある。立派な方針だが抽象的なので、具体的に気づいたところを一つ一つ潰していかないとと思う。

【委員】

- ・ 共立講堂の通りについては 12 年前から協議会で協議をしていた。早いことやってみようと、とりあえずあそこだけイチョウを残して進めた。自転車もすれ違えない自転車道路を作りやがってと言われた。あれはモデルケース。駐車スペースも取っていないが、これからは駐車ゾーンも作り進めていきなかったが、反対派の人たちに押し留められていまだできない。

【委員】

- ・ 道路が良くなったところを中心にまちづくりをするものだと思う。スムーズに通れる道路になってはじめてまちづくりになると思う。

【委員】

- ・ まちづくりを進めていく上で道路周辺の整備も良くなる。もちろん道路だけでなく防災や環境などの地域の課題、あと一番大きいのは連携型まちづくりで、拠点開発だけでなく周りの既存建物にどう貢献していくかといったところが大事。もちろん道路も大事なので、協議会で議論させていただきたい。

【部会長】

- ・ 17・18 ページの図にあるとおり、取組 6・9・12 で整備していくことを書いている。これでよいかというのが今日までの議論。まず、この方針で定めていこうとなっているか委員の皆さんに確認いただきたい。その先で、道路整備をどうやるかは区のほうで、地元の意見を聞き、進めていただきたい。
- ・ まちづくり方針の内容については、概ね了承いただいていると思うが、ほかにお気づきの点はあるか。

【委員】

- ・ 19 ページの内容を実現出来たら素晴らしいと思うが、既存市街地の基盤整備で、小広場等の滞留空間の整備、防災性の向上、子どもの遊び場整備とあるが、そんなことができるのかというのが率直な気持ち。

【事務局】

- ・ まちづくり方針は概念が書かれている。求められる機能をどう配置していくかは個別の開発の中で示し、実現できているか確認していただきたい。先ほど申したガイドラインを情報提供する際に、議論していただきたい。

【部会長】

- ・ 方針を取りまとめることができ感謝したい。当初将来像をどう提示していくか議論したが、最終的には多様な神田を一つの将来像にとどめるということは難しく、このような形となった。強固な形がない以上、継続的な議論が重

要になってくる。その意味では指針としては心許なく、抽象的なものになっているが、その分より可能性を広げて、決定ありきではないと理解している。方針が決まりこれで動いていくということではない以上、今後のまちづくりを議論する場を早急に作り、そこで多くの方と議論することをこの方針で決定したのだと思う。むしろ決めて終わりにしなかった分だけ、ここからやることをより充実させていくことを目指してこの方針を定めたというのが本懐だと思う。そこは区が主導的にやらなくてはいけないし、みなさんが参加できる環境を一緒に作っていったらと思う。部会の役割としては一つ終えたが、またそこに向けて皆様のご協力をいただければと思う。

【事務局】

- ・今後の進め方について説明させていただく。まちづくり方針については、部会で了承されたということで、この後は協議会で報告し、区で策定となる。協議会については現在のメンバーで開催して、今後いろんな意見をいただく体制を検討し報告するようなキックオフの会をやりたい。日程の見通しは、事前の周知も考慮し10月終わりから11月と思っているが、詳細は改めてご案内させていただきたい。

4. その他

【委員】

- ・エリアマネジメントは色々あるが、神田らしさを継承する連携型まちづくりが必要と思う。町会は違う役目があり全体を見る視野には欠けているが、補完するのがエリアマネジメントだと思う。コミュニケーションをとる場が少なくなっている。警察通りもこのままだと点と点が線にならない通りが完成すると危惧している。たまり場的な点を少し大きくした円で結ぶことが必要。UR社会実験や「神田でパンダ」や「なんだかんだ」などイベントでもよいと思う。住民と働く人の接点づくり、これも町会の担い手を育てるヒントがある。エリアマネジメント的な手法でどう東ねていくのが課題。

【部会長】

- ・エリアマネジメント等、次のまちづくりの議論の受け皿作りは次の段階でされていくので、一つの意見として受け止めてご検討いただけたらと思う。

【事務局】

- ・まちづくり方針を策定することを目的に部会が設立されたが、案を了承いただいたので、部会は解散としたい。

【部会長】

- ・協議会で差し戻しになれば解散にならないかもしれないが、今日の会をもって部会の役割は果たしたので解散としたい。これにて部会を閉会する。